

虫丸独儀

陰陽河

イン ヤン ホー

★OSAKA A-ホール 復興公演

1997年

2月1日(金) 2日(土) 7:00 PM 3日(日) 3:00 PM

A-ホール・JR伊丹駅前阪急伊丹駅徒歩7分

セツ寺共同スタジオ・地下鉄・鶴見線・大倉町駅下車
2月9日(土) 7:00 PM 10日(日) 11日(祝) 3:00 PM
1997年

★NAGOYA「セツ寺共同スタジオ」前駅下車



出演

藤條虫丸

白井洋志(全スラク奏者)

片山旭星(会場見習)

スタッフ

作・北原 諒

コーディネイト・志木安雄

アード・フラン・小谷高明・井上晴美

舞台監督・坂本 修

照明・塩地信明

音響・松尾神

衣裳・西野なほみ

宣伝美術・秋山 純

写真・羽鳥直志

制作・CAT BOX・長沢コナシ

前売・2300円(大阪・名古屋共)

当日・2500円

●チケットぴあ・チケットセゾンにて発売中

●問い合わせ

大阪・CAT BOX

TEL 06-6367-7271・7272

名古屋・セツ寺共同スタジオ

TEL 052-262-1186・4455

同時開催

羽鳥直志写真展

シルクロード美術館

中林昌美作品展

彫金会(チベット・イマジンネーション)

タクラマカン砂漠の砂を「喜ばさんが選んでくれた。砂は極めて細かく、サラッとしていて滑らかで、百全日の中国ツアリ」を考えた喜ばさんに聞いてみた。「喜ばさんは、我々をやる時、ドラムや、ギターや、色んな楽器に触発されたり、刺激を受けて、一つの曲になったりするけど、曲を作る時は、何に刺激されたりしますか?」「風や、土や、空などに刺激されますね。砂の様にキラキラした目で、後は思ひ最後は、タクラマカン砂漠の石を渡にくれた。」

ミュージシャン・上田正樹

化粧道具と衣装の入ったデカイ布袋を肩からさげて、「イコカ」と誰ともなく言っている。彼は出かける。自分は芸人やから、さりげなく言い切ってしまう彼の肩に余計な力が入っている。バザール、街角、路上、河原、広場、公園、彼に向ける視線は常に新鮮な驚きに満ちていた。舞う彼を見つめるウイグルの子供達の目はピカピカしていた。道端、荒野、砂丘、山境、干湖、民衆、人のおおいのしない土地でも何かが彼を静かに見守っていた。彼は、しなやかに、タクラマカンの精進たちと交わっていた。中国西域の乾いた空気と砂塵、タクラマカンの自然が持つエネルギー。そしてそこに暮らす人々がくれた。気、熱の現場において、喜ばさんは、そのすべてを貪欲に取り込んだ。そして今、彼の内部でそれらが消化され、彼の四肢を通して表現される。私も、再び、驚えることになる。

ボウケンライター・関 久志

虫さんへ
どこが好きかって、あたしは、虫さんの身体が一番好きだ。あんな見て気持ちのいいキレイな身体の入った、そうそう居ない。音楽会やと、出し惜しみして、人力車夫の様ないでたちで現れるので、ついつい、「こいつ、やっぱ、ケチだ。」と思ってしまう。だけど、舞台の上では、まったく、出し惜しみなどしないだろうし、あの身体が動くのだから、それはもう、それだけで、充分美しいハズだと思ふ。
タクラマカン砂漠の砂を、期待しています。

タクラマカン砂漠の砂を、期待しています。



虫丸独儀

[陰陽河]

マン・ザン・ホー

2月9日 7:00 PM 10日 11日 3:00 PM セツ寺共同スタジオ



さんまのまんま
株式会社ラック
06-305-2347
SHOW UP!
東洋ショー
Fee ¥2500 06-358-6084
カメラ・ビデオ・DPE・ビデオコピー
TAKフォート
知多郡武豊町字瀬木17 TAK21-1F 0569-73-5907
各種イベント企画・制作・実務
株式会社フォーカス
〒564 大阪府吹田市豊津町1-11 西浦ビル401号 06-338-7456(代) FAX 06-335-0575



OSAKA 2月1日 2日 7:00 PM 3日 3:00 PM A-ホール